

「小回りがきいて、顔の見える関係を活かした連携」

～地域づくりとつながる地域包括ケア体制～



【松野町役場】
保健福祉課
地域包括支援センター



松野町の位置

「森の国まつの」



愛媛県の西
南部

町土の84
%が森林

基幹産業は
農林業

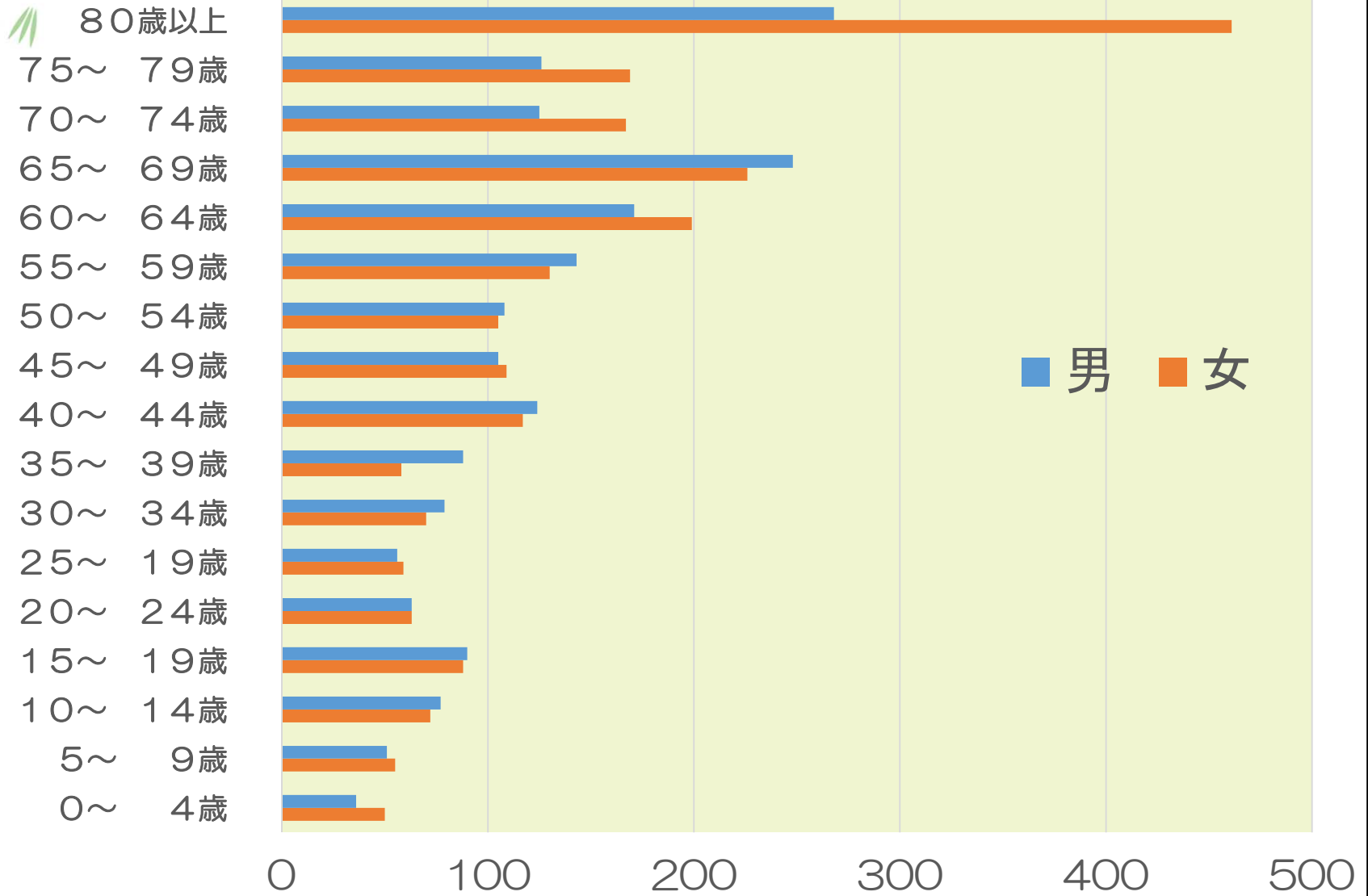
1 松野町の概要（平成29年1月1日現在）



人 口	4,156	男	1,958	世帯数
		女	2,198	2,058
65歳以上人口	1,790	男	767	75歳以上 1,024 (男394 女630) ※65歳以上の57.5%
		女	1,023	
高齢化率	43.07 %			
一人暮らし高齢者	225名 (男 67 女 158) ※見守りが必要な独居高齢者			
要介護認定者	第1号認定者 434名 認定率 (25.08%)		第2号認定者 9名 ※平成28年11月末現在	
教育関係	保育園	2園	園児数 85 (14・71) ※幼稚園無	
	小学校	3校	児童数 (114・29・6)	
	中学校	1校	生徒数 (95)	
出生数	平成27年度14 (26年度14、25年度15、24年度17)			

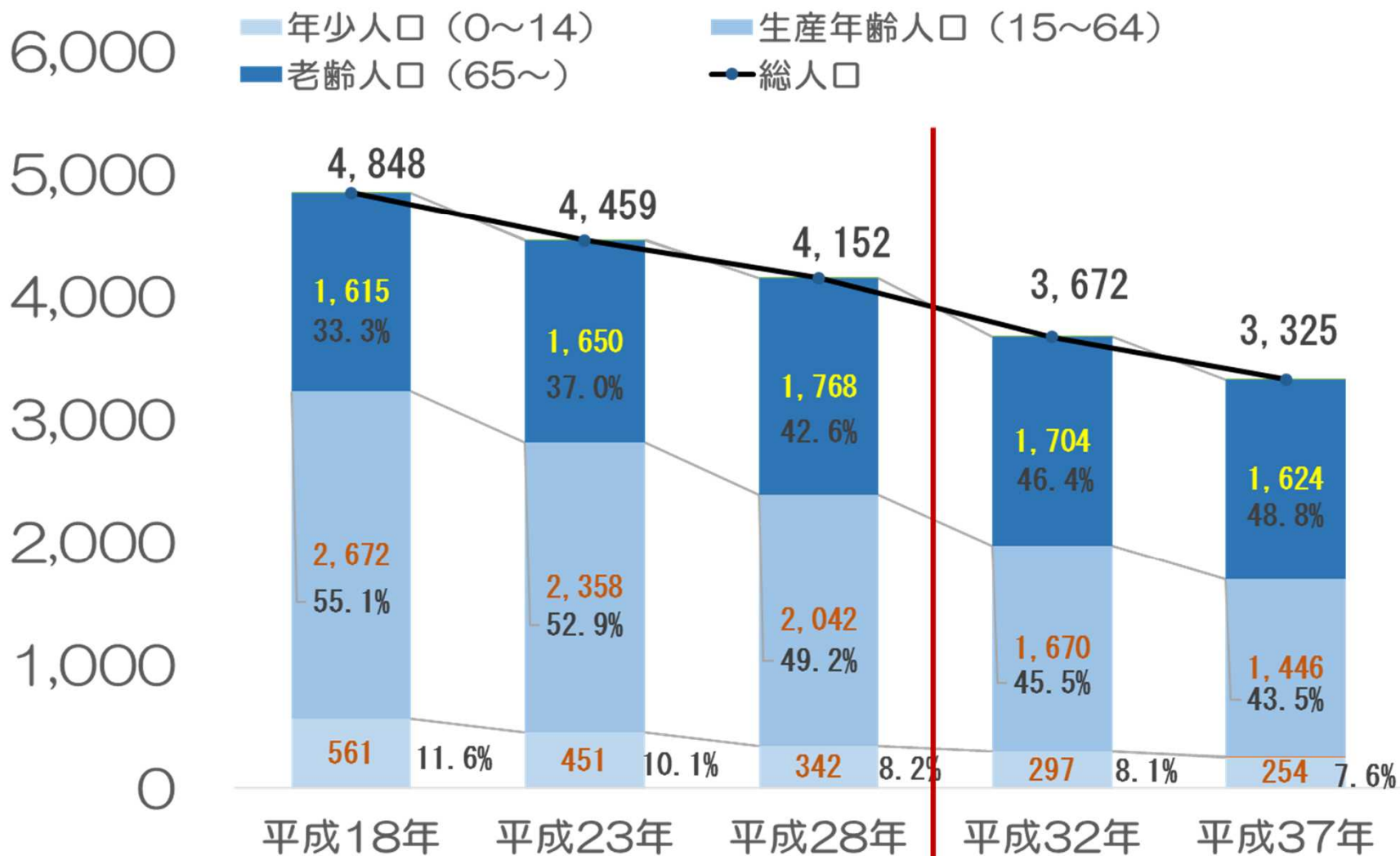


松野町の総人口の構成状況 (平成29年1月1日現在)



資料：住民基本台帳年報より

年齢3区分別 人口の推移



資料: 松野町年齢別人口調べ → 第5次松野町総合計画推計値



6月～7月
桃が特産品のひとつ！
甘くておいしい！





4月
桃源郷マラソン！
3,000名以上の方がエ
ントリー、桃の里を駆
け抜けます！





**この日、町の人口は
2倍になります。**





武者伝送レース!



松野町 遊鶴羽（ゆずいは）

日本の棚田百選

「奥内の棚田及び農山村景観」として、国の文化審議会では重要文化財的景観に選定されました！





**弘法大師
由来の
「逆さ銀杏」
の伝説**





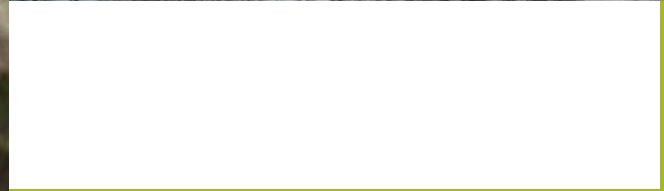
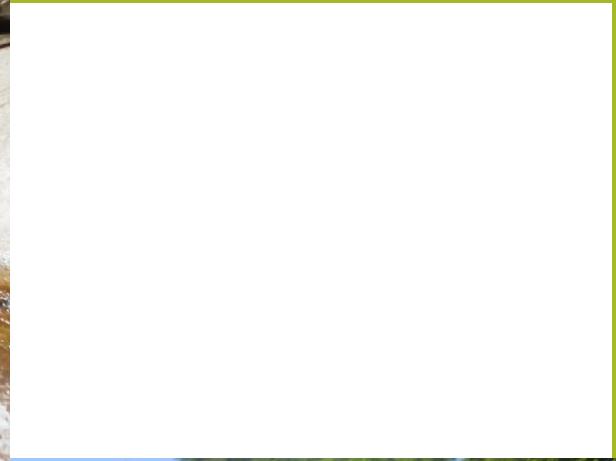
松丸街道 まちなみ

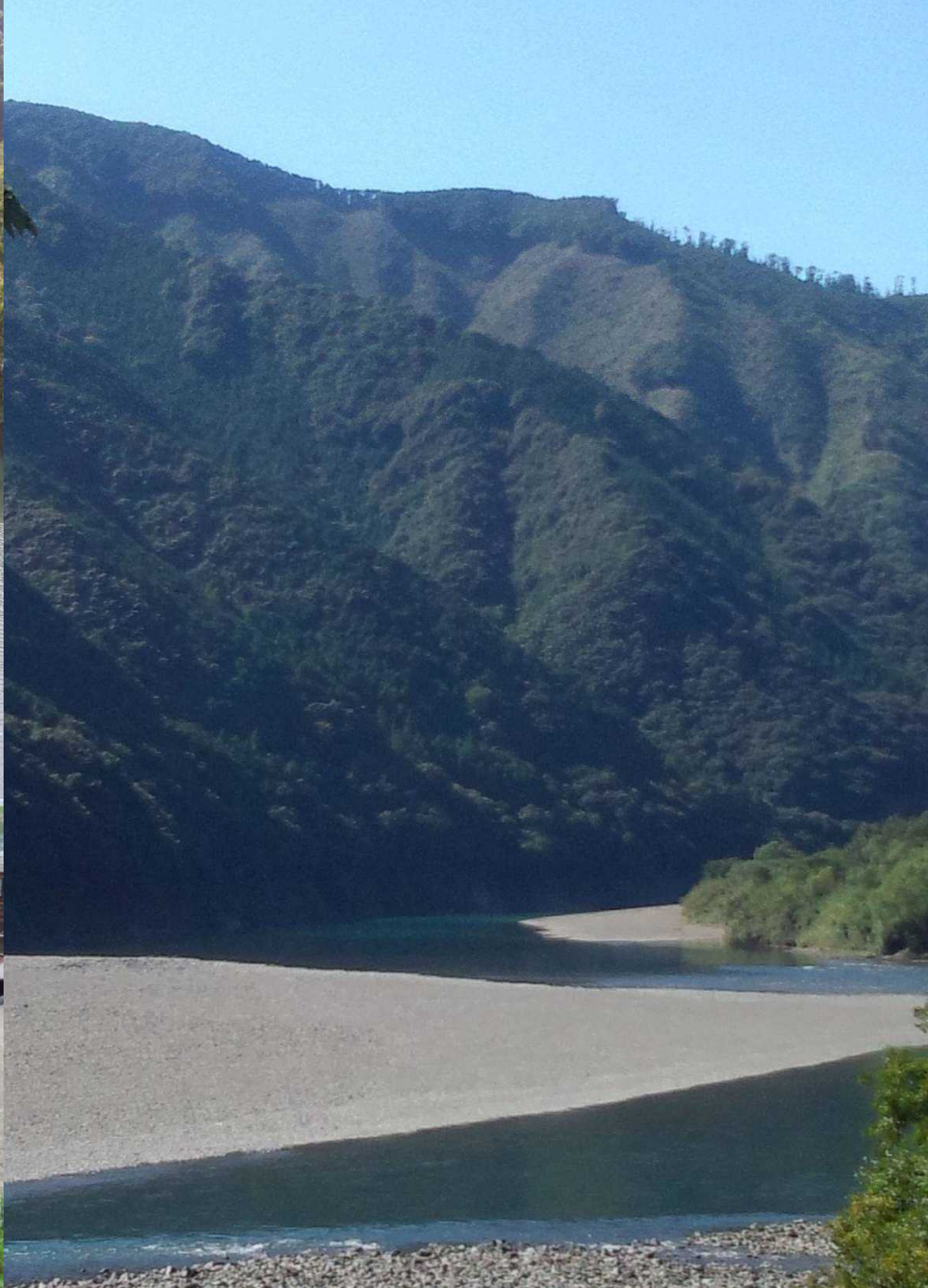


風の声聴いた♪
滑床溪谷



キャンプ





美しい四万十川はすぐとない♪





街並み
商店街通り





老舗酒造 「伊予美人」



大門橋から眺める保健センター



大門橋から眺める虹の森公園



森の国中央診療所 (保健センター併設)

町内では唯一の入院施設



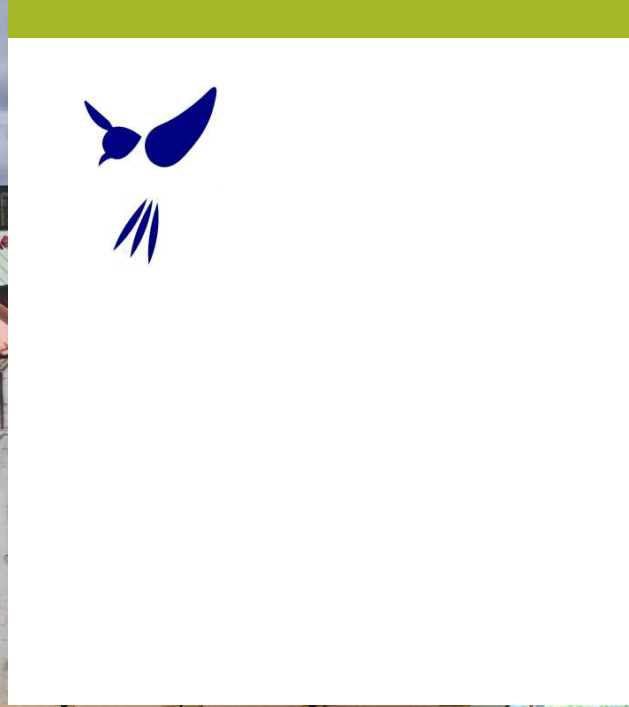


虹の森公園 四万十川に流れる広見川



田園の向こうに広がる集落





松丸保育園！

町内には2つの保育園





**元気ッス！開催中
みんな元気いっぱい**



イキイキキラキラ！
元気な子どもたち

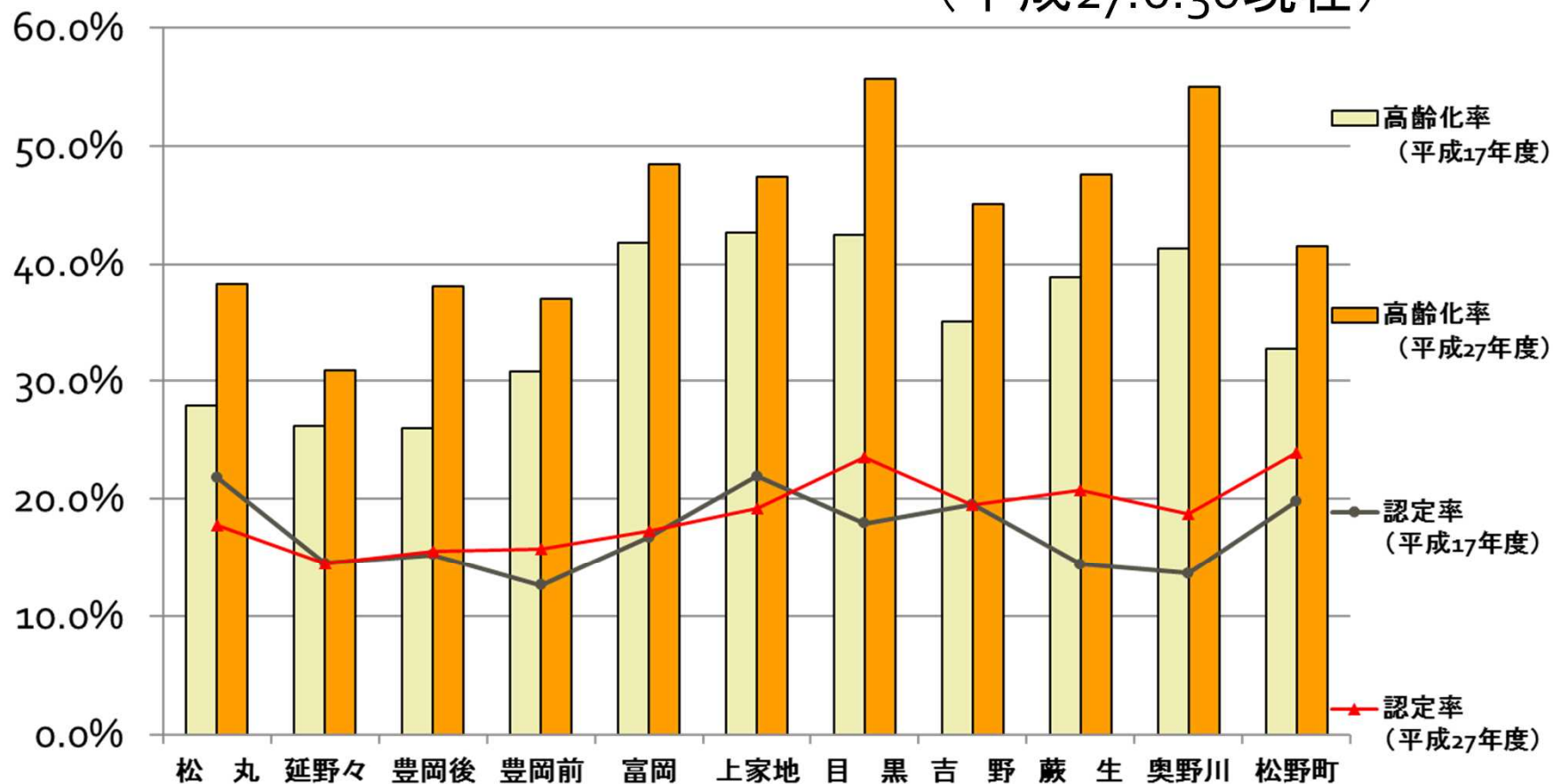


松野中学校 木造校舎



地区別高齢化率・認定率の動向 (全10地区)

(平成27.6.30現在)



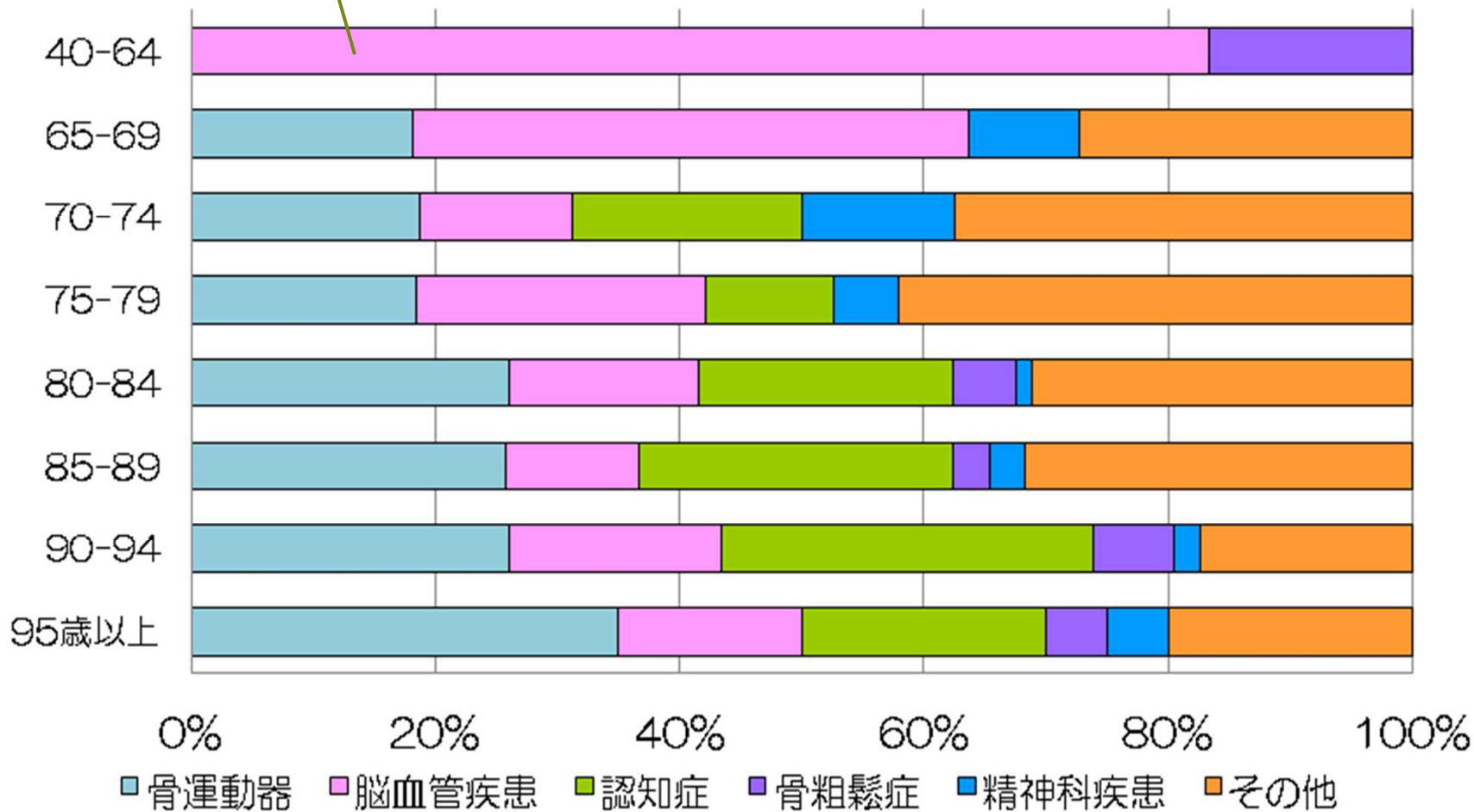
※平成17年と平成27年の比較

脳血管疾患

介護が必要になる原因(年齢別)



介護が必要になる原因(年齢別)



(資料：平成27年1月松野町介護認定者結果集計)

2 医療資源の状況



町立国民健康保険中央診療所19床 1カ所

歯科医院（個人） 2カ所

※近隣市町に二次・三次医療機関があり、
必要に応じ病診連携による対応



森の国中央診療所
松野町保健センター
松野町地域包括支援センター

3 介護資源の状況



【在宅サービス】

サービス種類	数	備考
居宅介護支援事業所	1	介護支援専門員 4名
通所介護	3	1カ所は地域密着型
訪問介護	2	社会福祉協議会他
訪問入浴介護	1	社会福祉協議会
小規模多機能型居宅介護	1	

※訪問看護は無・・鬼北、宇和島の事業所に依頼

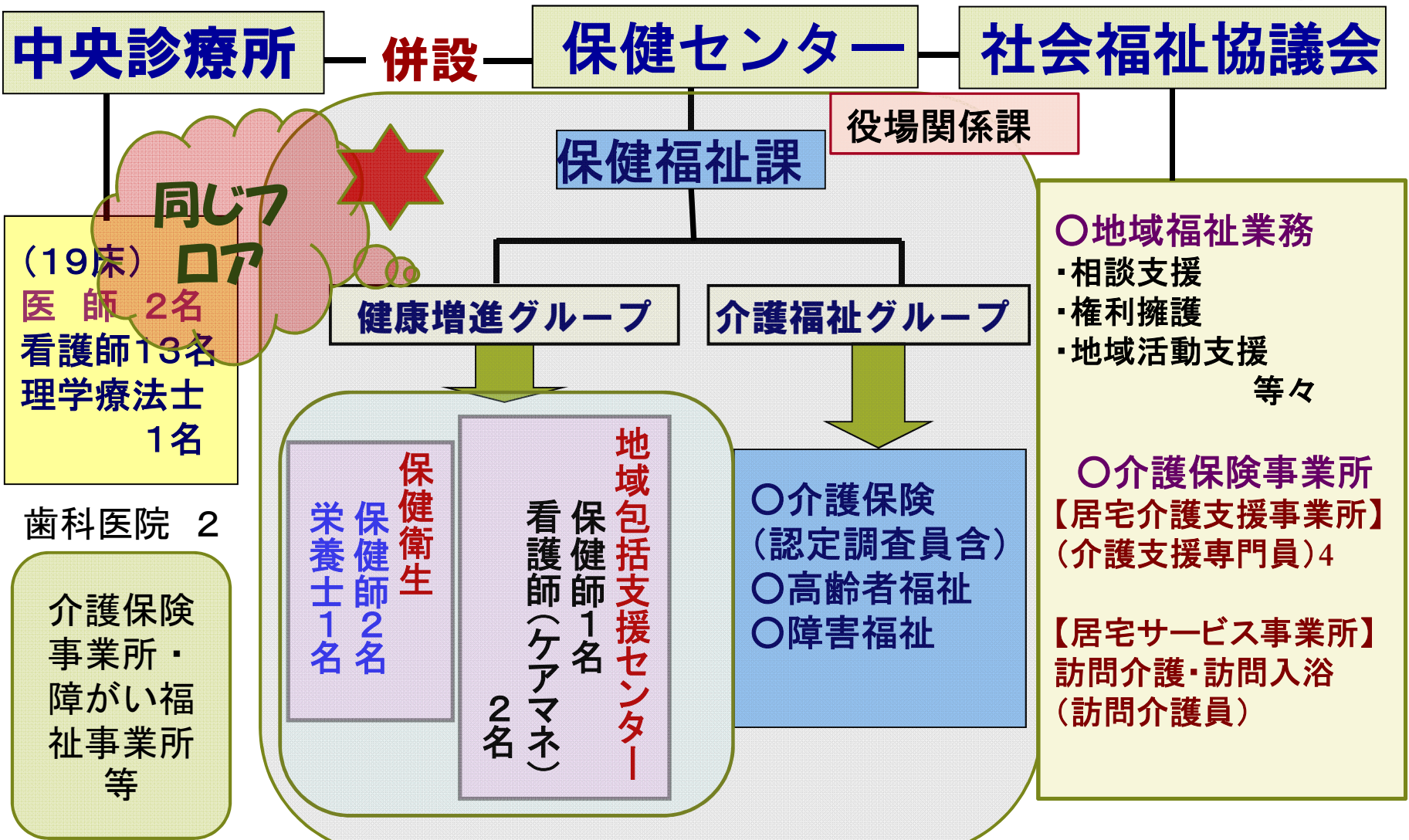
【施設サービス】



サービス種類	数	備考
介護老人福祉施設	1	※広域運営 定員 50 ショートステイ、通所介護併設
認知症対応型共同生活介護	2	定員 9・9
介護付き有料老人ホーム	2	定員 15・20
サービス付き高齢者向け住宅	1	定員 33戸

※在宅・施設サービスとも町内の資源で足りない部分については、近隣市町の介護資源を活用させていただいている

松野町の保健・医療・福祉（主な体制）



☆保健福祉課長(保健師)が支援センター長兼務

4 医療・介護連携の推進を図る仕組み等

(1) 現在の体制の構築の経緯



介護保険が創設されるずいぶん前から・・・

寝たきりの方がおられるんですけど、家ではお風呂に入れられなくて・・・。
家で何とか入れてあげられないかな

保健師と社会福祉協議会のヘルパーさんで訪問し、小さなビニールプールで在宅入浴。
かかりつけの医師(診療所)にも相談しながら、体調管理



認知症の方がいるんだけど、家族は、あまり知られたくないようで・・・。
しんどさや不安を相談できるようにしたい。

保健師が訪問して、話を聴いて、医師につなぐ
○相談事業（保健師訪問、医師の訪問、保健センターに来所等）



集いの場もほしい



物忘れが気になりな方を対象に集いの場『よりあい』誕生
→現在の介護予防事業「認知症閉じこもり予防教室よりあい」へと継続してつながる。

重度難病で長期入院、「家に帰りたい・・・」
でもどうしたらいいかわからない。

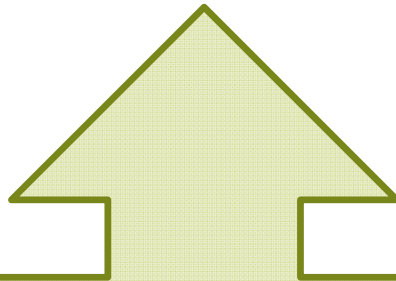


在宅への移行について、主治医や病院の医療スタッフの方々の助言などをいただきながら、関係機関やスタッフと何回もカンファレンスを重ねて、「家に帰る」支援を行い、継続して在宅支援を行った。
(多職種連携の基盤が創られていったひとつの道筋になった)



介護保険が施行されてから・・・それぞれの職種の役割を互いに理解し、全体像を共有して役割を持って実践

- 地域からの声にニーズを捉え、方向性を考え実践につなげていく
- さまざまな困難や複雑さを抱えた事例などに出会ったら丁寧にアセスメントを行い、方向性を見出しサポートしていく。



- その都度、チームとして関わる地域の多職種メンバーとともに考え、方向性を共有し、それぞれの役割を持ちながら一つ一つ実践していく
- 互いの職能や役割の理解と認め合う心を持ち協働する（チームアプローチ）
- 日頃の関わり等、小さなことを大切に地道にこつこつと積み上げていく

(2) 現在の体制による取り組みの実際

保健・医療・福祉の連携における定期連絡会
と日常的な連携



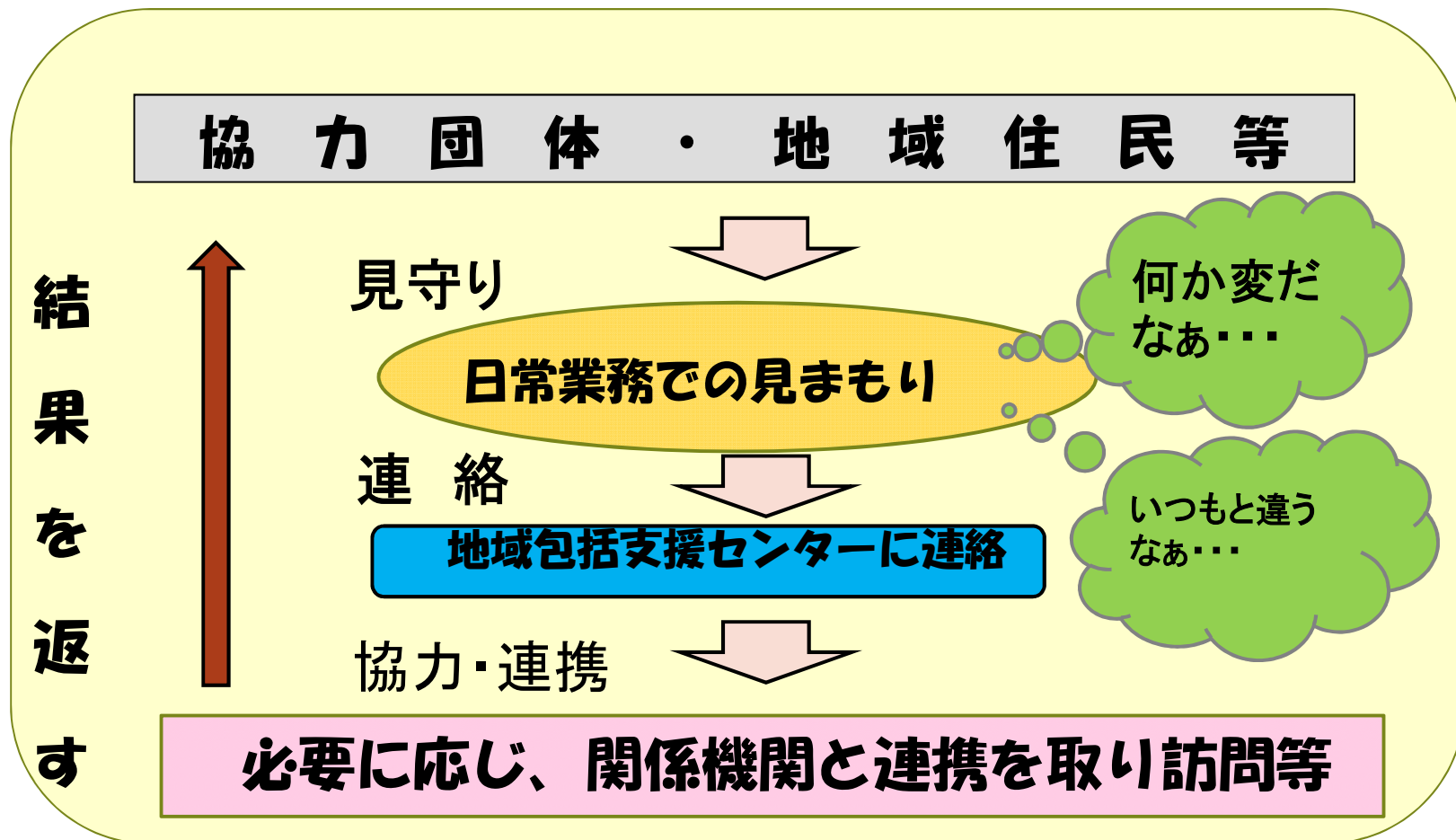
松野町内のネットワーク会議



- ① 地域包括ネットワーク会議 (1回/月)
- ② 地域ケア連絡会 (1回/週)
- ③ 保健・包括連絡会 (1回/月)
- ④ 地域ケア会議 (随時)
(困難事例検討・ケースカンファレンス)
※主なもの H26年度11回・H27年度12回
- ⑤ 森の国まつの・ききされネットワーク
- ⑥ 民生委員・児童委員協議会定例会
- ⑦ 介護事業所における運営推進会議
(グループホーム・小規模多機能型居宅介護支援
地域密着型デイサービス)

・・・等々

森の国まつの・ききされネットワーク



認知症徘徊者登録

定期連絡会以外に
○困難事例検討
○ケースカンファレンス 開催
主なもので
H.26 11回
H.27 12回

連携における定期連絡会

①地域包括ネットワーク会議

平成7年～

【保健・医療・福祉関係部門全体】

1回／月 開催

●構成員

地域包括ケアに関わる医療・保健・福祉関係各分野のメンバー(32名)

●内容

・地域包括ケアに関する関係分野の連携
・各分野からの情報提供等
・地域包括ケアに関する各分野の
資質向上に関すること(研修等)

日常的には
タイムリーな個々の連絡



②地域ケア連絡会

【実務者を中心として集約したもの】

1回／週 開催

●構成員

地域包括ケアに関わる医療・保健・福祉関係各分野のメンバー(18名)

●内容

* 医療との連携に関すること
* ケアプランに関すること
* ケースカンファレンス 他

平成12
年頃～

平成7年
～

③保健・包括連絡会

【保健分野保健師・包括・栄養士】

1回／月 開催

●構成員

保健分野 保健師・包括支援センター職員・栄養士(7名)

●内容

事業計画・報告
連携における検討等
事例検討等

松野町外における医療介護連携

●鬼北・松野連携会議

1回／月 場所 鬼北町立北宇和病院

隣町鬼北町との医療・介護・保健連携

鬼北町立北宇和病院・旭川荘南愛媛病院・松野町立
国保中央診療所、及び鬼北町介護保険課、鬼北町内
の介護関連施設等との連携会議

●南予地域医療介護連携ネットワーク連絡会

「連携なんよ」 4回/年 場所 西予市

※各地域リーダーが参加(年度末には全体会開催)

宇和島圏域・八幡浜大洲圏域の行政(地域包括支援
センター)、医療・介護・保健分野及び宇和島保健所・
八幡浜保健所の医療介護担当者



構成メンバー

連絡会名	医療	介護・福祉	保健	行政等
地域包括ネットワーク会議	<p>(中央診療所)</p> 医師 2名 看護師長 P T	<p>(社会福祉協議会)</p> ケアマネ 4名 局長・訪問介護員 社会福祉士・相談員 <p>(包括支援センター職員)</p> ケアマネ <p>(介護認定調査員)</p> <p>(町内事業者代表者)</p> 各事業所 1～2名 特養・通所介護・GH 小規模多機能 等 ※テーマにより民生児童委員も参加	ヘルス保健師 管理栄養士 包括担当保健師	介護保険担当 高齢者福祉担当 障がい福祉担当 総務福祉担当 保健福祉課長 ※テーマによりそのほかの関係課にも参加要請
地域ケア連絡会	<p>(中央診療所)</p> 医師 2名	<p>(社会福祉協議会)</p> ケアマネ 訪問介護員(管理者) ※他事業所も参加可能	包括担当 保健師 ヘルス 保健師	/
保健・包括連絡会	/	包括 ケアマネ	包括担当 保健師 ヘルス 保健師 管理栄養士	/

地域包括ネットワーク会議でのテーマ（抜粋）



- 「森の国松野健康づくり計画」について 保健師
- 「松野町食育促進計画」について 栄養士
- 「特定疾患（難病）と制度について・・・介護保険との関係など」 保健所保健師
- 事例を通して協働・連携の在り方を考える 包括
- END of LIFE [人生の最終章をどう支えるか・・・ターミナルケア] 医師・ケアマネ
- 「地域医療における癌との向き合い方」 医師
- 「よいよい睡眠について」 医師
- 災害時要援護者支援個別プラン策定における事例」 役場総務課危機管理室
- 「サロン活動を地域づくりにつなげて」 社協地域福祉
- 「権利擁護セミナー in 松野・鬼北・愛南」報告 社協地域福祉
- 悪徳商法の実態と被害防止に向けて 消費生活アドバイザー

地域包括ネットワーク会議の様子



**本日のテーマは、「脳卒中について」
診療所先生のお話です。みんなで学
び、日々の活動に活かします！**

**地域ケア連絡会
の様子**





**ロールプレイで学び中！
民生委員さんも参加**

地域包括ネットワーク研修会



森の国中央診療所





☆社会資源は少なく、選択肢も少ないけれど、「小回りがきいて顔の見える関係」が普通に存在します。その関係を強みとして捉え、全体で大切にしてきたことで時代の流れや情勢の変化に対応しながら、「わが町なりの体制づくり」につながってきていると感じます。

☆地域医療に熱心にかかわっていただく医師の存在が円滑な連携に大きくつながっています。地域のスタッフがやりがいを持って役割を遂行できるチームアプローチも支援されていきます。

各職種の役割りの理解 とチームアプローチ

☆ 必要な情報の共有と方向性の統一

☆ それぞれの職種・分野での
役割りの認識と協働。

お互いの
職能や役
割りを認
めあう心
(信頼と
尊敬)

一人一人
が
チームの
一員であ
るという
認識

日々の小さ
なことを大
切にこつこ
つと積み重
ね

日頃の関わり
等を通して
ひとつひとつ
積み重ね。

まめに感謝も
伝えて・・・
(いつもあり
がとう。あな
たがいてくれ
ることのでいい
方向に進めま
す。(＃^.^＃)

(3) 医療介護連携の取り組みを行う上での今後の課題

社会資源が少なく選択肢が限られる・・・少数精鋭であることを常に目指すこと

大切な医療を守ることにもつながる

- 効果的な連携につなげるために、地域スタッフ全体の共通理念に基づいた更なる質の向上とスキルアップ

意識的なりサーチの継続

政策としての理解を得られる働きかけの継続

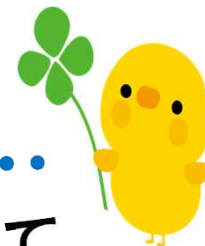
- 人材の確保
(特に専門職が不足・・・複雑な困難事例も増加)
- 連携室を通しての連携はとれているが、個人医院との医療介護連携のとり方を工夫していくこと必要

ひとりひとりの事例を通して丁寧に積み重ね等

(4) 今後の方向性・・・地域包括ケア体制全体

地域づくりとつながる地域包括ケア体制の視点を持って・・・

* 今ある資源を見つめなおし、その機能を整理する、そして
つなぎ合っていく、その中で足りないものを創っていく



医療連携においてもベース

**社会福祉協議会との
連携・協働の発展**

- * 地域福祉活動計画策定のプロセス等を通して共有・協働
- * 地域との協働

行政各課との課を超えた連携協働の具体的実践

地域医療を町全体で大切に守っていける取り組みの継続

- * 共通理念に基づいた地域スタッフのレベルアップ
- * 現在の連携体制をニーズに基づいて発展させていく
- * 住民の理解と協力の啓発